

2016.11.28

第 18 回日本コミュニケーション障害学会・学会発表奨励賞、 および 2016 年度研究助成金の贈呈式が行われました

去る 2016 年 5 月 15 日（日）、第 42 回日本コミュニケーション障害学会学術講演会会場（千葉県文化会館）において、定期総会後、第 41 回学術講演会において発表された演題の中から今後の発展性が期待できる優れた演題として選考された第 17 回学会発表奨励賞の贈呈式が行われました（敬称略，所属は発表時のもの）。受賞者には、賞金として 5 万円が贈呈されました。

志磨村早紀（早稲田大学障がい学生支援室）、北義子（国立障害者リハビリテーションセンター学院言語聴覚学科）

「重度聴覚障害成人による当事者研究—日常生活における困難への気づき」

加藤麻美（上智大学大学院外国語学研究科言語聴覚研究コース）、原恵子（上智大学言語聴覚研究センター）、荻野美佐子（上智大学総合人間科学部心理学科）、都田青子（津田塾大学学芸学部）

「特殊モーラ意識の発達と音韻構造」

また、2016 年度日本コミュニケーション障害学会研究助成金（10 万円）が贈呈されました。

塚越千尋（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻）

「小脳性認知・情動症候群 cerebellar cognitive affective syndrome: CCAS の言語機能についての検討」

来年度の研究助成金公募については、『コミュニケーション障害学』Vol. 33, No. 2（2016 年 8 月刊行）に掲載されています。研究活動に資金的援助を得る機会の少ない職域におられる方々の応募を特に期待しております。

日本コミュニケーション障害学会・研究推進委員会